

JR連合  
 総がかりの運動を  
 強く広く  
 展開しよう!



# JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

**日本鉄道労働組合連合会**  
 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10  
 東興ビル9階  
 TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848  
 FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849  
 1部20円 (但し組合費に含む)  
 ●発行者 松岡裕次 ●編集者 中村鉄平

facebook  
 twitter

**JREユニオン  
 新潟の営業職場で**

**貨物鉄産労  
 九州保全センターで**

**次々と加入**

J R 連合加盟の J R E ユニオンと貨物鉄産労は、9月に入り相次いで新たな仲間を迎え入れた。引き続き、真に民主的な労働組合に結集することの重要性を訴えていく。



芸備線の橋りょう流出現場で状況説明を受ける参加議員

橋りょうの流出現場では、レールや橋桁などの撤去が進んでいた。1年以上かかるとされており、河川改修の迅速化とともに、

**西日本豪雨による被災線区視察 JR連合国会議員懇話会「バー」中心に現状・課題を共有**

6月28日から7月8日にかけて、集中豪雨が日本列島を襲い、西日本を中心として土砂崩壊、河川氾濫、堤防決壊などを発生させ、2000人を超える多くの人命を奪い、住宅などに浸水被害等を及ぼした。そして、「平成30年7月豪雨(西日本豪雨)」として7月24日に激甚災害指定された。

鉄道においては、JR西日本やJR四国をはじめ、JR東海、JR九州などで復旧に長期間を要する被害を受けた。9月14日現在、JR連合組合員の尽力とともに国・地方自治体との連携や地域の各関係者の支援により、多くの路線が復旧に至っているものの、いまだに運休を余儀なくされた路線が残されている。

**早期復旧支援、防災・減災対策に強く取り組むことを確認**

9月14日、JR連合は、21世紀の鉄道を考える議員フォーラムの泉健太副会長をはじめ6人の国会議員、JR西労組中央本部・広島地本、貨物鉄産労とともに、被災線区である山陽本線、芸備線、呉線および広島貨物ターミナル駅の現地視察を行った。今回の視察は8月10日にJR西労組中央本部・広島地本とともに現地視察を行い、被災状況の深刻さを確認した上で、国会議員への働きかけがきつかけとなつて実現した。最初に訪れた芸備線狩留家・白木山間の第一三篠川

## 労働協約【労働条件等】改訂 (概要)

- 【JR東海ユニオン】**
- フレックスタイム制の適用範囲拡大
    - 本社、本社附属機関及び地方機関にフレックスタイム制を適用 (一部除く)
  - 保存休暇の用途拡大
    - 当該年度に付与した年休の残日数が10日以下の場合で、人事部長が別に定める反復・継続して治療が必要な疾病等により通院する場合、保存休暇の取得を可能
  - 基本協約の条文の改訂
  - 始終業時刻の柔軟化
    - 日勤勤務に従事する社員、専任社員及び契約社員の始終業時刻について、定期的な通院、通勤緩和、育児又は介護の理由により希望し、簡所長が事業の正常な運営に支障がないと判断した場合、柔軟な運用を認める
  - 通称の導入
    - 婚姻等により戸籍上の氏名が変わった場合等においても、業務においては旧来の氏名を通称として使用することを認める
  - リワークトレーニングの適用対象の拡大
    - メンタルヘルス不調に加え、円滑な就業復帰のためのサポートが必要と管理医が認めた病気やけがも対象
  - 健康増進イベントの新設
    - 体力年齢の測定を軸としたイベントを地区別に開催。これにあわせ、現在実施しているソフトボール大会を廃止するとともに職場レクリエーションの経費補助を見直す
  - 臨時社員の賃金の一部見直し
    - 臨時社員の賃金を、社員同様に一部見直す
- 【JR西労組】**
- 企業内保育所の設置
    - 吹田駅付近に、企業内保育所を設置
  - 治療に関する無給休暇の新設
    - がん、脳卒中、心疾患、糖尿病、肝炎の治療及び不妊治療のために通院する場合に使用できる無給休暇を新設。(各月5日以内)進級・昇格欠格条項には該当しない
  - 人間ドック受診の支援制度改善
    - 大阪鉄道病院・JR広島病院で人間ドックを受診する際、自宅からの船車賃を支給。直接予約を可能とし、現地精算は不要
  - フレックスタイム制の適用範囲の拡大
    - 土木技術センター、建築区、機械区にフレックスタイム制を適用
  - モバイルワークの試行拡大
    - 試行箇所の一部支社(精査中)を加えるとともに、対象者に管理職社員を追加。端末貸出手続きや、業務内容報告を簡略化
  - 保存休暇の使用目的の追加
    - 風水震災等の災害により家屋に損害を受けた場合、保存休暇の使用を可能
- 【JR四国労組】**
- 添乗旅費の増額を含む添乗業務の改善
    - 添乗旅費の増額 (国内旅行: 日当3,600円、修学旅行: 日当4,600円)
  - 添乗業務を行う日は、原則として添乗業務に関連する業務以外の業務には従事させない。なお、従事した場合はその時間数を時間外労働として取り扱い、超過勤務手当を支

橋りょうの修繕には河川管理者との調整が重要となっている。また、当該橋りょうが建設から100年以上が経過しているということから、老朽化とともに当時の工法・部材が影響していると考えられ、平均年齢が耐用年数を上回る全国の鉄道施設の課題が浮き彫りにされた。

続いて、山陽本線の瀬野八本松間の土砂崩壊現場を視察した。当該区間は9月9日に運転を再開しており、視察時も徐行運転ながらも列車が運行していた。

一方、山の斜面は土砂崩壊が起きた状況のまま手つかずの状態であった。次に訪れた呉線の水尻駅は大量の土砂が流入したことで、駅設備や軌道が埋没した。当該区間はすでに復旧しており、駅構内の設備や踏切などは新しいものに取替えられていた。

駅周辺の空き地には大きな岩が無数に積み重ねられており、付近の住宅などの塀には、当時の状況を物語るよ



現地視察に先立って挨拶する泉衆議院議員(21世紀の鉄道を考える議員フォーラム副会長)

## 労働協約改訂交渉

**「JR関係労働者に相応しい働き方」の実現に向けて**

J R 各単組は労使間の取扱いに関する協約をはじめとする労働協約改訂にむけた取り組みを展開し、妥結に至った。

この間、JR連合は2018春季生活闘争の取り組みとして、JR7単組で5単組がベアを獲得し、グループ労組では前年度を大きく上回る51単組がベアを引き出した。また、定期昇給確保に加え、一時金や制度改善等についても、多くの成果を獲得した。

さらに、6月の第27回定期大会において、「働き方の総点検を不断に行い、ワーク・ライフ・バランスを高める」ことを中心として、2019春季生活闘争にむけた議論を展開し、JR関係労働者にとつてあるべき労働環境を実現していく。

とのトラック輸送が現在も行われているところであった。構内のフォークリフトとトラックが交錯する作業は煩雑であることが窺え、安全確保の面からも課題があると感じられた。

広島駅に帰着後、議員との意見交換を行った。JR連合の政策要望として、災害復旧補助の拡充をはじめとする早期復旧支援とともに、防災・減災対策、治山・治水事業とあわせた地域全体の総合的な対策の必要性、バス代行・鉄道貨物代替輸送の課題などを訴えた。これに対して、各議員からは人流・物流におけるリダンダンシー、老朽化設備の大規模改修に対する規制上のインセンティブなど、今後

の政策活動に反映すべきアドバイスを受けた。

J R 連合は、近年の鉄道被災を踏まえ、そして将来を見据えて、JR西労組や各加盟単組はもとより、連合や交運労協とも連携をさらに深め、既存の枠組みにとらわれず政治・行政や世の中へ訴える活動を継続的に

行っていく。

今後、労働政策委員会を

中心として、2019春季生活闘争にむけた議論を展開し、JR関係労働者にとつてあるべき労働環境を実現していく。

# ヤマちゃん

なかのはやみ(N0291)



えちぜん鉄道田原町駅で停車するLRV

えちぜん鉄道は、京福電鉄が2度の正面衝突事故を契機に運

乗入れのため、2016年に改良された駅であり、両社のLRVが行き来していた。

## 月刊連合10月号への掲載

連合が毎月発行する「月刊連合」の2018年10月号で、連載記事「オトナの社会科見学」にJR四国・高松駅が取り上げられ、JR四国労組・ワープ高松管理駅分会の若手組合員が紹介されています。

是非、「月刊連合」10月号をご覧ください。購読部数拡大にも連合の一員として取り組みましょう。



「連合エコライフ21」新たな大作戦!?

## 早川町ボランティア ボランティア活動を通じて地域との交流



人の背丈程に伸びたやぶに入り刈払機で草を刈る参加者

JR連合は、9月15、16日にかけて、山梨県巨摩郡早川町保集落で今年2回目の地域活性化ボランティア活動を行った。

JR連合の21世紀の鉄道の発展と地域活性化に向けた政策提言に基づき、同町における地域活性化ボランティア活動を11年間重ねてきた。

1日目はあいにくの雨模様となり、NPO法人日本上流文化圏研究所(上流研)の取り組みについて、講演を受けたあと、切れ味が悪くなった草刈鎌を研ぎ石で研磨する作業を行った。

9月13日、JR連合は、交通労協の一員として、福井市における鉄道部会及びバス部会の合同視察会及び学習会に参加した。

えちぜん鉄道を利用し、福井駅から田原町駅を訪れ、えちぜん鉄道より、会社発足の経緯から現在に至るまでの説明を受けた。当駅は、福井鉄道・駅前線の延伸について説明を受けた。

その後、福井市より同市を取り巻く公共交通の現状と課題について説明を受けた。同市における地域公共交通の取り組みは、地域が事業者とともに連携、協働した好事例と捉えられ、JR連合の政策活動においても学ばべき点が多く、有意義な視察となった。

家族の幸せを災害から守る

### 火災共済 オプション保障

#### 火災共済の保障力を、さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

類焼損害保障

個人賠償保障

借家人賠償保障+修理費用

※借家にお住まいの方のみ

オプション保障(類焼損害費用保障、個人賠償責任保障、借家人賠償責任保障+修理費用)は、共済火災海上保険協を引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

みんなで暮らしをガード

交通共済 (JR職域生協)

全国交通運輸業労務者共済生活協同組合

B1424401E1244-20150209

# 民主化闘争 41

## ますます存在感を失う JR総連・JR東労組

9月22日の朝日新聞朝刊に、「JR総連が連合会費減免申請」との記事が掲載された。JR総連加盟の最大組織であるJR東労組において、「組合員が約3万人以上脱退し、財政が悪化したため」のようだ。情報によれば、8月上旬時点でJR東労組の組合員数は約1万3000人で、組合未加入者は約3万7000人にとどまっている。記事には「連合に支払う会費の算出元となる組合員を約4万8000人から約2万3000人に半減」することを、

10月に了承する方針とある。これにより、今後の連合内における発言力の低下は必至であろう。一方、JR東労組は、9月18日付で「専従指定に対する中央執行委員会見解」を提出した。これまで100人以上の専従者がいたとされているが、会社との労働協約に基づく専従者は10月から全体で29人となることを中央執行委員会が確認したようだ。さらには、機関決定に従わないとされている東京・八王子・水戸地本には専従指定は行わず、

大幅に組合員が減少した高崎地本に専従を配置できる環境がないことも明らかにした。ところが、実際には専従を残して、29人よりも少ない人数の専従休職を申請したとの情報も漏れ伝わっている。連合会費減免申請の動きが示すとおり単なる財政難と見るべきか、それとも他の理由があるのか、動向を注視していく必要がある。

また、9月20日、JR東労組は「労使間の取り扱いは協約を締結した。会社施設を便宜供与される組合事務所について」「本部及び地方本部、ならびに支部ごとに1箇所を上限として許可するものとする」と新たに制限が設けられた。この制限で、いくつもの組合事務所が姿を消すのか。これまで東京支社ビル内にあったJR東労組東京地本はすでに上野駅に移転し、本社ビル横のJR東日本新宿ビル内のJR東労組本部は、今後、ビルの耐震工事のため立ち退きを迫られるとの話も聞かされてくる。

JR総連・JR東労組の組織が縮小するに伴い、連合内での立場やJR東日本における労使関係などが変化する現状からも、かつてのような存在感はもはや感じられない。JR連合は、JR産業の発展にむけて、民主的労働組合・労使関係を築くこと、10月10日、「JR産業の発展にむけて民主的労働組合・労使関係を築く総決起集会」を開催する。すべての組合員の総決起を要請する。

## グループ 新幹線エンジニアリング労働組合 (JR東海連合)

新幹線エンジニアリング労働組合は2012年8月に結成し、新幹線エンジニアリング(株)に勤務する正社員で構成されている組織です。現在、308人の組合員で構成されています。業務内容は、東京・大阪の新幹線車両基地を主な拠点として、新幹線車両の検査・修繕業務を行っています。組合員は、JR東海グループの一員として、また東海新幹線を通じて社会に貢献するという自覚と誇りを持って日々業務に携わっています。私たちが取り巻く環境は、交番検査の周期延伸が2015年3月から実施され、新幹線車両のメンテナンスフリー化により、受注している業務量が減少傾向にあることから、非常に厳しい状況にあるといえます。

この状況を打開するために、労使協力の元、職域の拡大に取り組んでいます。一昨年度は車内ITV増設工事を受注し、すべての工事を無事故で完遂しました。これまで浜松工場や車両メーカでしか施工できなかった「改造」を受注することが可能となり、非常に大きな成果となりました。

新幹線エンジニアリング 第5回 定期大会で挨拶する奥村貴樹委員長

業務研究等を通して多くの工事を受注することができました。今後も、労使一体となり安全の確保、労働条件の向上に努めて参りますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

### JR総連が連合会費減免申請

連合は21日、傘下の全日本鉄道労働組合総連合会(JR総連)から会費の減免の申請があったと発表した。加盟組織の東日本旅客鉄道労働組合(JR東労組)で組合員が3万人以上脱退し、財政が悪化したためという。連合に支払う会費の算出元となる組合員を約4万8千人から約2万3千人に半減し、会費を月約452万円から約216万円に減らすよう求めており、連合は10月に了承する方針。JR東労組をめぐっては、今年の春闘で当時の執行部が経営側にストライキ権の行使を通告したのをきっかけに、運営に対して組合員が反発。脱退者が相次いだ。JR総連からの連合会費減免申請を報じる【朝日新聞(2018.9.22)】

### JR産業の発展にむけて 民主的労働組合・労使関係を築く 総決起集会

日時 2018年10月10日(水) 18:15~19:30  
場所 田町交通ビル(東京都)